

**令和7年度 後志教育研修センター**

**調査研究事業報告会**

**社会教育調査研究委員会**

# 報告内容

- 1 調査研究内容について
- 2 コミュニティ・スクールにおける社会教育行政の役割や可能性とは
- 3 次年度へ向けて

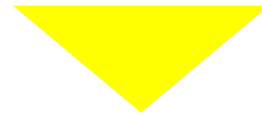
# 1. 調査研究内容について

# (1) 今年度の研究内容・計画について

## ○メインテーマとサブテーマ

### メインテーマ

「持続可能な社会に向け、  
地域の可能性を引き出す学びをつくる社会教育のあり方」  
(北海道社会教育主事会)

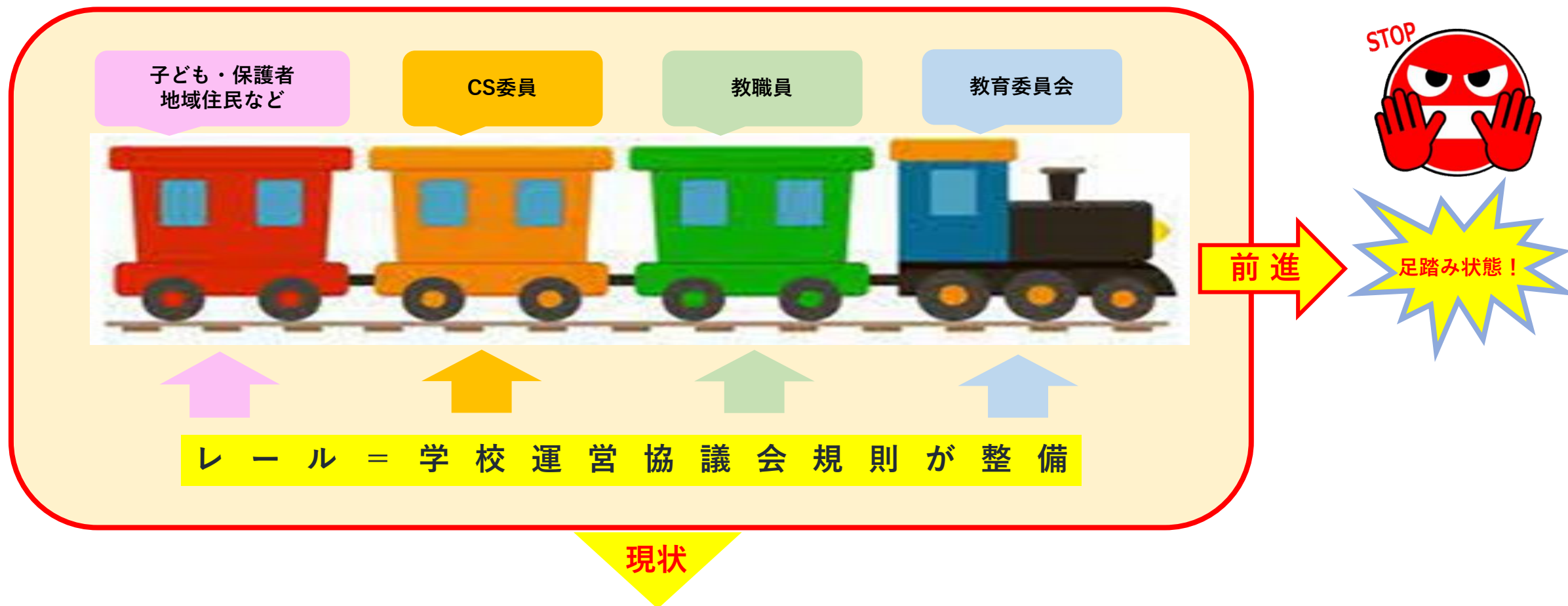


### サブテーマ

「後志管内におけるコミュニティ・スクールと地学協働の現状と課題」  
(後志社会教育主事会独自)

## (2) 後志管内の現状（令和5年度の調査・研究結果から）

後志管内の19市町村が学校運営協議会を導入しているが・・・



学校運営協議会が整備されてはいるが、十分な機能が果たせていない（前進できていない）！

### (3) 自治体単独での取り組みには限界がある

○取り組みが進むには、**タイミングがカギ**！

・行政職員、 教職員、 地域住民 など



広域的に取り組むことで、  
一定水準の質を確保す  
ることが可能に！

○「**他の自治体の取り組みを参考にしながら、進めていきたい**」

## (4) 後志全体の底上げを！



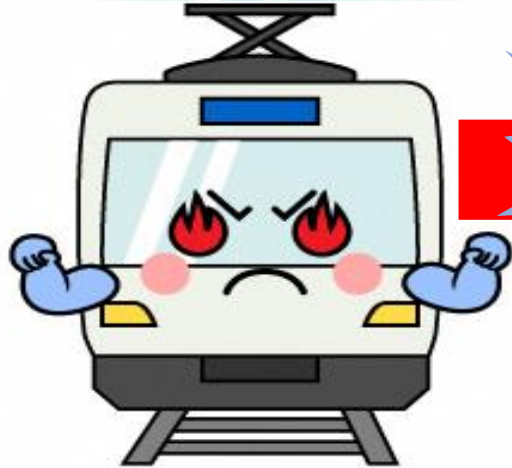


## (5) 研究内容・研究計画の全体像 (主事会5か年計画)

### 後志管内のコミュニティ・スクールと地学協働の **前進** に向けた展望 (R5～R9)

3 各自治体の取り組みを  
一般化したモデルを作成！

5 「Shiribeshi」モデルの反動 & 教委の強いアクセル



プッシュ！

「Shiribeshi」モデルとは・・・

各自治体の取り組みを一般化して、「誰が携わっても」、「どの自治体でも」同じような水準を維持して取り組みができるように整理したもの（「手引書」をイメージ）。

4

子ども・保護者  
地域住民など

CS委員

教職員

教育委員会



6

前進

1 令和6年度 車両点検 = 「課題の発見」



2 令和7年度 車両整備 = 「課題の改善」



後志管内の取り組みが**前進**！



## 2. コミュニティ・スクールにおける 社会教育行政の役割と可能性とは

# 今年度の後志社会教育主事会の目指す方向性とは!?



テーマ

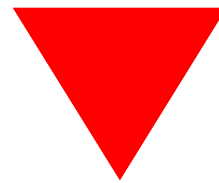
**「後志管内のコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の実際」  
～社会教育の可能性について理解を深める～**

対等性・双方  
向性のある学  
校運営協議会

地域性を生か  
した地域学校  
協働活動

地域との深い  
関係づくり

系統性のある  
地域学校協働  
活動



実地研修を通じて・・・

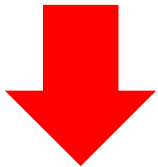
コミュニティ・スクールの知見を広げる ✕ 社会教育担当者としての実践力のUP ↗

# コミュニティ・スクールにおける社会教育行政の役割や可能性とは？

そもそも  
コミュニティ・スクールって!?



子どもたちの成長を  
「学校」 & 「地域」 & 「行政」  
社会総がかりで支えていこう！



各自治体の  
学校運営協議会規則では!?

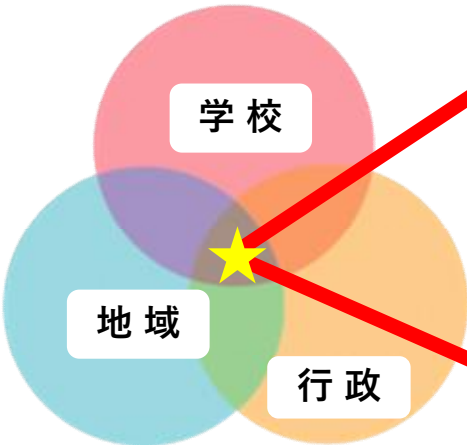


教委としての  
「最低限の役割」は  
明記されている

- ・ 学校運営協議会の設置
- ・ 委員の任命
- ・ 研修会の実施
- ・ 庶務



コミュニティ・スクールにおける  
社会教育行政の役割とは!?



### 社会教育の「役割」・「強み」・「特徴」

地域社会とのつながり

多様性・柔軟性・信頼関係

社会教育士は、地域のヒト、コト、モノの価値や地域の想いや願いを共有し

地域の人たちと共通の価値観を共有しながら

地域の人たちと一緒に学びの機会をつくり

新たな人との出会いやつながりをつくり

持続可能な地域をつくる

★社会教育行政（担当者）として、子どもたちの成長のために、どのような関わり方ができるのかを探っていきましょう！

# どのような手段で社会教育行政の携わり方を探るのか？（考察方法）

今年の目標！

社会教育行政の  
携わり方の理解



## 1 知識の向上

社会教育行政がコミュニティ・  
スクールに携わる意義や役割に  
ついての知識の習得  
⇒ 専門家による講義

## 2 想像力の向上

社会教育行政の視点から管内の  
評価点や課題点へのアプローチ  
方法について考察  
⇒ 実地研修



## 3 技能の向上

社会教育行政がコミュニティ・  
スクールに携わるうえで必要と  
なる実践力の習得  
⇒ 実践力養成講座  
「シリーズ〇〇の技術」



電話応対コンテスト



ファシリテーションコンテスト



令和7年度の研修サイクル

7月1日(火)  
寿都町

1 【実地研修①】第1回管内研修会（7月）

- 社会教育の果たす役割について理解を深める（講義）
- 寿都町の事例からCSにおける社会教育の可能性を考察（視察）



後志管内におけるコミュニティ・  
スクールと地域学校協働活動の**実際**  
～社会教育の可能性について理解を深める～

2 【教職員との意見交流】後志教育研修センターの講座

- 事例紹介（コーディネーターの役割と職務の実際）
- 意見交流「CSにおける教職員の関わり」  
⇒①教職員がCSに携わるうえでのハードルとは？  
②学校や行政ができることは？

9月17日(水)  
研修センター

関心度  
No1

学校のニーズや地域住民の思いを集め、地域住民の参画を得ながら活動へ結びつける人

- コーディネーターの役割と職務の実際（視察）
- 地域住民との深い信頼関係を築くためには？（演習）

11月17日(月)  
留寿都村

3 【実地研修②】第2回管内研修会（11月）



2月13日(金)  
真狩村予定

4 【実地研修③】第3回管内研修会（2月）

- 双方向性・対等性のある学校運営協議会の実際（講義）
- 活発な議論を促すファシリテーションとは？（演習）

# 第1回管内研修会

## ①講義

「そこが知りたかった！廣瀬先生に学ぶ  
コミュニティ・スクールのあれこれ」  
元宇都宮大学教授 廣瀬隆人 氏

## ②寿都小学校5年生の授業見学

「高齢者疑似体験・車椅子体験」

## ③寿都町CSコーディネーター実務見学

## ④実践力養成講座

「タイトル作りの技術」

### 基礎用語の確認！

- ★コミュニティ・スクール
- ★地域とともにある学校
- ★学校を核とした地域づくり



コミュニティ・スクール  
＝地域づくり

人づくり つながり 地域づくり



### 進み具合には “ステップがある”



### やり方は “みんな違ってみんないい”



⇒コミュニティ・スクールは、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」をめざす社会教育と接点がある

# 令和7年度の研修サイクル

7月1日(火)  
寿都町

## 1 【実地研修①】第1回管内研修会（7月）

- 社会教育の果たす役割について理解を深める（講義）
- 寿都町の事例からCSにおける社会教育の可能性を考察（視察）



後志管内におけるコミュニティ・  
スクールと地域学校協働活動の**実際**  
～社会教育の可能性について理解を深める～

## 2 【教職員との意見交流】後志教育研修センターの講座

- 事例紹介（コーディネーターの役割と職務の実際）
- 意見交流「CSにおける教職員の関わり」  
⇒①教職員がCSに携わるうえでのハードルとは？  
②学校や行政ができることは？

9月17日(水)  
研修センター

関心度  
No1

学校のニーズや地域住民の思いを集め、地域住民の参画を  
得ながら活動へ結びつける人

- コーディネーターの役割と職務の実際（視察）
- 地域住民との深い信頼関係を築くためには？（演習）

11月17日(月)  
留寿都村

## 3 【実地研修②】第2回管内研修会（11月）



2月13日(金)  
真狩村予定

## 4 【実地研修③】第3回管内研修会（2月）

- 双方向性・対等性のある学校運営協議会の実際（講義）
- 活発な議論を促すファシリテーションとは？（演習）



# 後志教育研修センター「学校と地域をつなぐ社会教育」講座

## ①パネルディスカッション

「コミュニティ・スクールが目指すもの」

## ②留寿都村の事例紹介

「コーディネーターの役割と職務の実際」

## ③グループワーク

「CSにおける教職員の関わり」

- ・教職員がCSに携わるうえでのハードルとは？
- ・学校や行政ができることとは？



⇒先進事例を共有し意見交換することで、小さな疑問の解決や新たな気づきが生まれた

令和7年度の研修サイクル

7月1日(火)  
寿都町

1 【実地研修①】第1回管内研修会（7月）

- 社会教育の果たす役割について理解を深める（講義）
- 寿都町の事例からCSにおける社会教育の可能性を考察（視察）



2 【教職員との意見交流】後志教育研修センターの講座

- 事例紹介（コーディネーターの役割と職務の実際）
- 意見交流「CSにおける教職員の関わり」  
⇒①教職員がCSに携わるうえでのハードルとは？  
②学校や行政ができることは？

9月17日(水)  
研修センター

後志管内におけるコミュニティ・  
スクールと地域学校協働活動の実際  
～社会教育の可能性について理解を深める～

学校のニーズや地域住民の思いを集め、地域住民の参画を  
得ながら活動へ結びつける人

関心度  
No1

- コーディネーターの役割と職務の実際（視察）
- 地域住民との深い信頼関係を築くためには？（演習）

11月17日(月)  
留寿都村

3 【実地研修②】第2回管内研修会（11月）



2月13日(金)  
真狩村予定

4 【実地研修③】第3回管内研修会（2月）

- 双方向性・対等性のある学校運営協議会の実際（講義）
- 活発な議論を促すファシリテーションとは？（演習）

## 第2回管内研修会

### ①講義

「ここでしか学べない志々田先生によるコミュニティ・  
スクールと社会教育の関係性についての特別講義」  
国立教育政策研究所生涯学習政策研究部統括研究官  
志々田 まなみ 氏

### ②留寿都村の事例紹介

「コミュニティ・スクールにおけるコーディネーターの  
役割と職務の実際」

### ③グループワーク

・講義と事例紹介の振り返り

### ④実践力養成講座

「コミュニケーションの技術」

⇒ 「コミュニティ・スクール」には大人同士の交流の輪を広げたり、生きがい作りにつながる側面がある  
「社会教育のノウハウを生かすことができれば、学校運営協議会がもっと楽しいものになる」！

# 令和7年度の研修サイクル

7月1日(火)  
寿都町

## 1 【実地研修①】第1回管内研修会（7月）

- 社会教育の果たす役割について理解を深める（講義）
- 寿都町の事例からCSにおける社会教育の可能性を考察（視察）



後志管内におけるコミュニティ・  
スクールと地域学校協働活動の**実際**  
～社会教育の可能性について理解を深める～

## 2 【教職員との意見交流】後志教育研修センターの講座

- 事例紹介（コーディネーターの役割と職務の実際）
- 意見交流「CSにおける教職員の関わり」  
⇒①教職員がCSに携わるうえでのハードルとは？  
②学校や行政ができることは？

9月17日(水)  
研修センター

関心度  
No1

学校のニーズや地域住民の思いを集め、地域住民の参画を得ながら活動へ結びつける人

- コーディネーターの役割と職務の実際（視察）
- 地域住民との深い信頼関係を築くためには？（演習）

11月17日(月)  
留寿都村

## 3 【実地研修②】第2回管内研修会（11月）



2月13日(金)  
真狩村予定

## 4 【実地研修③】第3回管内研修会（2月）

- 双方向性・対等性のある学校運営協議会の実際（講義）
- 活発な議論を促すファシリテーションとは？（演習）

## 第3回管内研修会（2月開催予定）

### ①講義

「学校運営協議会をもっと楽しいものに！  
～社会教育の腕の見せ所とは？」  
栃木県立真岡工業高等学校長 井上 昌幸 氏

### ②「意義のある会議を実践するための秘訣とは？」

### ③実践力養成講座

「ファシリテーションの技術」



# どのような手段で社会教育行政の携わり方を探るのか？（考察方法）

今年の目標！

社会教育行政の  
携わり方の理解



## 1 知識の向上

社会教育行政がコミュニティ・  
スクールに携わる意義や役割に  
ついての知識の習得  
⇒ 専門家による講義

## 2 想像力の向上

社会教育行政の視点から管内の  
評価点や課題点へのアプローチ  
方法について考察  
⇒ 実地研修



## 3 技能の向上

社会教育行政がコミュニティ・  
スクールに携わるうえで必要と  
なる実践力の習得  
⇒ 実践力養成講座  
「シリーズ〇〇の技術」



電話応対コンテスト



ファシリテーションコンテスト

# 3. 次年度に向けて



## 次年度の調査・研究の方向性（予定）

① しりべしモデルの目標設定

② 仮説の設定